



2008年9月24日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社  
代 表 者 名 社 長 井筒 雄三  
コ ー ド 番 号 5214 東証・大証第一部  
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 阿閉 正美  
TEL 077(537)1700

### 業績予想の修正等に関するお知らせ

#### 1. 平成21年3月期 第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日～9月30日)の業績予想の修正

第2四半期(平成20年7月1日～9月30日)の業績見通しを踏まえ、去る4月30日に公表した連結業績予想のうち第2四半期連結累計期間の業績予想を次のとおり修正します。

(単位:億円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,900～2,100	500～600	500～600	300～350
今回修正予想(B)	2,040	640	620	340
増減額 (B-A)	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—
前年同期実績	1,714	436	424	211

〈備 考〉

- 主力のFPD用ガラスを中心に良好な需給環境の下堅調な業績を上げることができた第1四半期に対して、第2四半期は液晶用基板ガラスの主要得意先による生産調整の影響を受け減速しましたが、当第2四半期連結累計期間の業績は、上表のとおり、前年同期を上回り、増収・増益となる見通しです。
- 第2四半期に関しては、上記生産調整に伴う需要の軟化や製品価格の下落に加え、原燃料価格の高騰、減価償却費の増加などにより、当該四半期に係る予想レンジには及ばないものの、前年同期に比べ増収・増益となる見通しです。

#### 2. 平成21年3月期 第3四半期(平成20年10月1日～12月31日)の見通し

- 上記生産調整が一巡した後、基板ガラス需要は回復に転じるものと思われませんが、足元ではなお不透明感が強く、楽観できない状況にあります。
- このような中、製品価格の下落をはじめ新設備立ち上げなどの利益圧迫要因が見込まれますが、生産性の改善や諸費用の削減を通じて収益の確保を図ってまいります。
- 以上により、前年同期比較で、売上げは0%～+10%程度を、また営業利益は-5%～+15%程度を予想しております。

なお、事業環境の変化は激しく、先行きの需要や価格の動向に対する不透明感も増しているため、現時点では通期の連結業績予想は据え置くことにいたします。

上記の見通し数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

以 上